

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 110-6150
 住 所 東京都千代田区永田町二丁目11番1号
 氏 名 株式会社 NTTドコモ
 代表取締役社長 吉澤 和弘 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社 NTTドコモ		
主たる事務所又は 事業所の所在地	*****		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	G	情報通信業
	中分類	37	通信業
主たる事業 の内容	移動電気通信業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	14,808	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	CSR部 第一CSR担当
		所在地	東京都千代田区永田町二丁目11番1号
		電話番号	03-5156-1111(代表)
		FAX番号	
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計 画 期 間	平成28年度 ~ 平成30年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	ドコモグループにおける環境保全の取り組みを紹介しています。 https://www.nttdocomo.co.jp/corporate/csr/about/pdf/index.html

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

ドコモ地球環境憲章を制定（2007年6月1日制定・2010年12月13日改定）し、地球環境の保全に貢献するための取り組みを進めています。

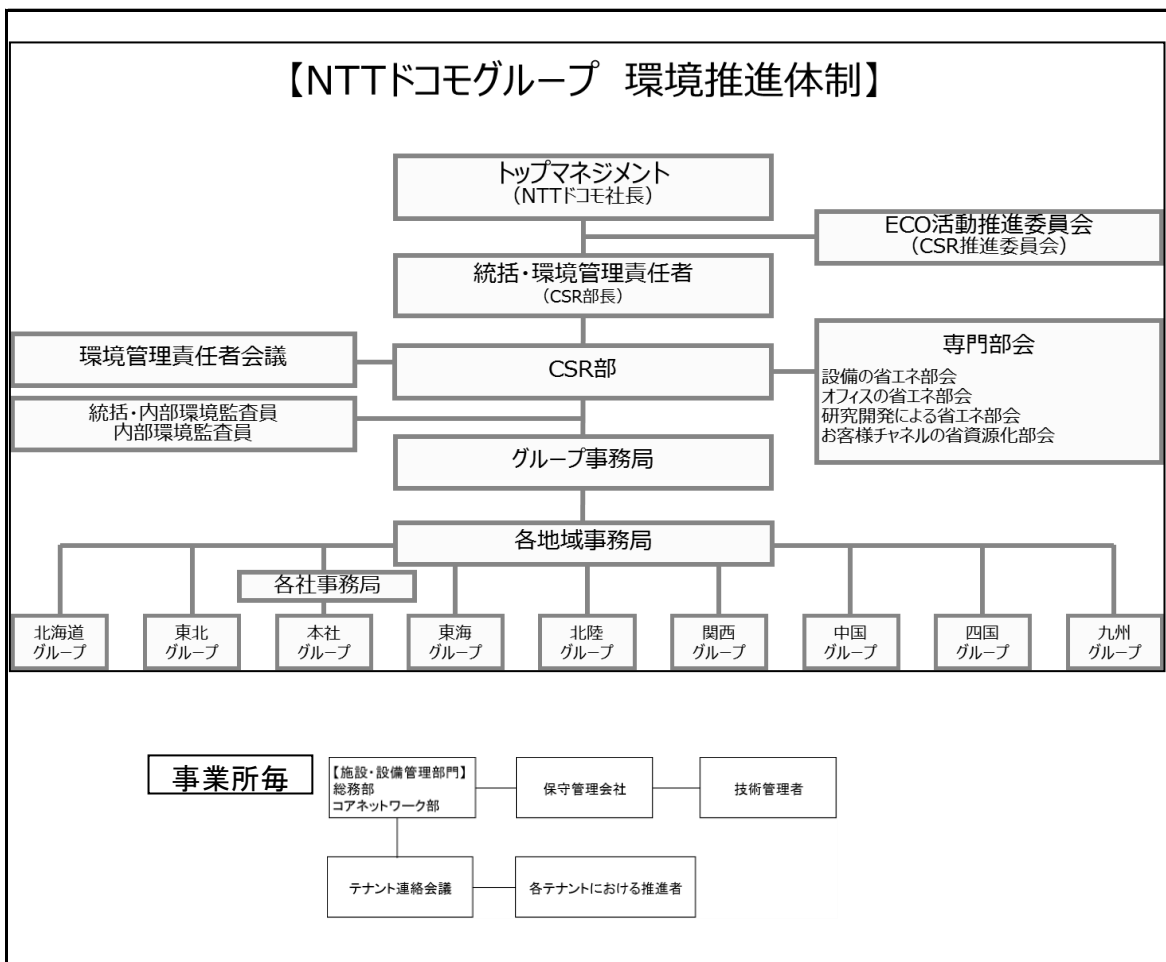
【基本理念】

私たちドコモグループは、地球環境問題を重要な経営課題と捉え、自らの事業活動における環境負荷を低減します。また、ケータイを基軸としたサービスの開発や提供を通して、生活やビジネスの様々な場でイノベーションを起こし、お客さまとともに社会全体の環境保全に貢献します。

【基本方針】

1. 環境に配慮した事業の実践
2. 環境マネジメントの強化
3. 環境コミュニケーションの推進
4. 生物多様性の保全

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量

ア 基準排出量と目標排出量

基準年度	平成27年度	目標年度	平成30年度
基準排出量	(実) 27,360 (調) 27,641 t-CO ₂	目標排出量	(実) 32,106 (調) 32,457 t-CO ₂
削減率	(実) -17.3 (調) -17.4 %	削減量	(実) -4,746 (調) -4,816 t-CO ₂

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等

原単位の活動量	-	単 位	-
基準年度の値	100.00	目標年度の値	97.020
削減率	3.0 %		
延床面積、生産数量以外の原単位を使用した場合の理由	大規模事業所においては、データセンターやサーバー室のエネルギー効率を示す指標である「PUE」に準じ、通信設備の消費電力である「通信負荷電力」を分母とする。 また、基地局においては、消費電力量と相関が高く、方式（FOMA/LTE）に関わらず同一単位にて集計可能な「総使用帯域幅」を分母とする。		

ウ 目標設定に関する考え方

弊社では、以前より省エネ対策に取組み、低消費電力装置・高効率空調装置の導入や再生可能エネルギーの利用を進め省エネ法で要求されている年1%のエネルギー効率化を推進してきている。今後は、スマートフォンの普及拡大に伴う通信量の増大に対応するため、通信設備の増強等を図ることに伴いエネルギー使用量が増加すると見込んでいるが、これまでの取組みを継続的に推進することに加えて、新・旧通信サービスにおいて、それぞれの通信量に応じて設備を運用管理することにより電力使用量の低減を図ることで、温室効果ガス排出抑制を目指す。そのため、従来と同様に原単位ベースで年1%の改善目標を設定した。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）

--

5 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の内容

<p>事業所等に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)</p>	<p>以下項目について、さらなる改善を図るべく、見直しを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 指針に基づく推進体制の整備 ● 温室効果ガス排出削減対策責任者の設置(役割分担、責任の所在の明確化) <p>経営者による対策目標の明示</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各担当部署での具体的な削減対策の立案及びそれらを検討する組織横断的な委員会の設置 ● 排出量の把握、整理、分析及び社内の情報共有体制の整備 ● 管理マニュアル作成、研修体制の整備 ● 無停電電源装置更改時の装置容量適正化による待機電力削減
<p>自動車に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 3 号該当者等)</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用計画及び前年度末における利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

●NTTグループ各社とともにソーラーシステムの導入をさらに推進した結果、ドコモでは2012年度までに既存導入分を含め、全国で1,376kW規模まで拡大した。今後は、太陽光発電により運用可能な「グリーン基地局」等、ドコモの事業特性に応じた、再生可能エネルギー源の導入を推進することとする。

イ 再生可能エネルギー源等の利用計画及び利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考
太陽光発電	30kw * * * * *	H14年度	導入済
太陽光発電	10kw * * * * *	H21年度	導入済

ウ 再生可能エネルギー源等の価値の保有計画及び保有実績

種類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

(3) 基準年度の末日までに完了した主な対策内容

【空調設備、換気設備】
 ○ヒートポンプ等の採用 (H21年度以前)
 ○回転数制御装置等の採用による負荷に応じた運転制御の実施 (H21年度以前)
 ○室外機の設置場所の考慮 (H21年度以前)
 ○空調調和区画ごとの温度等の把握 (BEMS等による適切な空調調和の制御、運転分析) (H21年度以前)
 ○回転数制御装置導入等による負荷に応じた風量制御 (H21年度以前)
 ○動力伝達媒体による動力損失低減対策の実施 (H21年度以前)
 ○駐車場の換気設備の運転制御システムの導入 (H21年度以前)
 ○駐車場の換気設備の運転制御の実施による動力の軽減 (H21年度以前)
 【発電専用設備、コージェネレーション設備】
 ○受電端発電効率の水準の確保 (H21年度以前)
 ○適正規模のコージェネレーション設備の設置 (H21年度以前)
 【受変電設備、BEMS】
 ○電力の需要実績と将来動向を踏まえた受変電設備の配置、容量等の決定 (H21年度以前)
 ○特定機器に該当する場合の基準エネルギー消費効率以上の採用 (H21年度以前)
 ○BEMSの採用 (H21年度以前)
 ○変圧器及び無停電電源装置の全体の効率向上のための、稼働台数の調整及び負荷の適正配分 (H26年度)
 ○エネルギー効率の高い業務用機器の選定 (H25年度・H26年度)
 【照明設備】
 ○総合的な照明効率を考慮した照明器具の選択 (H21年度以前)
 ○不必要な場所及び時間帯の消灯又は減光のため、人体感知装置の設置、計時装置(タイマー)の利用又は保安設備との連動等の措置の実施 (H21年度以前)

6 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

●ICT（情報通信技術）の活用による環境負荷低減への貢献
先進のICTを活用して提供しているドコモの商品やサービスは、人やモノの移動を減らし、資源・エネルギー利用の効率化や温室効果ガスの削減に貢献しており、関連する取り組みを推進してきました。今後もICTの高度化を図り、CO2削減につながる商品やサービスを開発することで、地球温暖化の防止に貢献していくこととし、より一層の社会全体の温室効果ガス排出削減に取り組んでまいります。

7 その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

- 【主な取り組み】
- 蓄電池充電制御技術を採用した次世代グリーン基地局の設置を図り電力削減を推進
 - 「Xi」サービス用基地局向けに環境対応型の無線装置を導入
 - 「立川ICTエコロジーセンター」での研究成果を活かし、通信インフラのCO2排出量を削減
 - 企業ビジョン「HEART」の実現に向けて「ドコモ地球環境憲章」を改定
 - 環境負荷の低減に向けて独自のガイドラインを策定・運用
 - 環境法規制の順守
 - グリーン調達を推進
 - 省エネ効果の高いネットワーク仮想化基盤の開発
 - 「NTTグループ省エネ性能ガイドライン」を設定し、効果的な環境負荷低減を推進
 - サイクルシェアリングを推進
 - 廃棄物発生量の削減とリユース・リサイクルを積極的に推進
 - オフィスや店舗で紙使用量の削減と廃棄物のリサイクルを推進
 - LED照明の導入の推進
 - 貴重な資源の有効活用のために携帯電話のリサイクルを推進
 - 携帯電話のリサイクルにおいて、環境省「広域認定」を取得。今後、さらなる高効率化と回収促進を目指す
 - 請求書や明細書の電子化（eビリング・WEB明細）をし、用紙の使用量を削減
 - 取扱説明書のスリム化と電子化を推進
 - 循環再生紙の使用とカタログなどの廃棄数削減を推進
 - 機密文書処理サービスへFOMA通信モジュールを提供
 - 社員やその家族が育てる「ドコモの森」づくりの推進
 - タブレット等を活用したペーパーレス会議の推進

詳細については、ドコモHP サステナビリティレポートにて紹介しております。
<https://www.nttdocomo.co.jp/corporate/csr/index.html>

8 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	27,360	t-CO ₂
(調)	27,641	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等单位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k_l 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
*****	*****	3721	移動電気通信業	25,326 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 以上 1,500k_l 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k _l 未満	
300~400k _l 未満	
200~300k _l 未満	
100~200k _l 未満	
100k _l 未満	172

(3) 事業所等单位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--